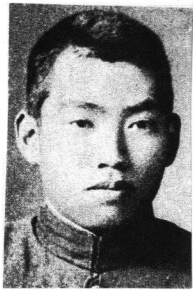


國崎定洞 くにしき じやうどう 衛生學者、社會運動家。明治二十七年十月五日熊本縣生れ、昭和十一年十一月十日歿（八五四一（九三七））。筆名和田哲一、野人生。東京帝國大學醫學部卒。大正十二年同學部助教授。十五年社會衛生學研究のためドイツ留學、翌年ドイツ共產黨に入黨。昭和四年助教授免官となる。七年ナチス擡頭により家族と共にモスクワに移ると、スターリン肅清に遭ひ獄死した。

『國崎定洞―抵抗の医学者』(川上武・上林茂暢編著、昭和四十五年七月二十五日勁草書房)は傳記及び著作集。



**國崎定洞**  
—抵抗の医学者—  
川上武 編著  
上林茂暢

---

七〇年代の人間像 千田是也

私の青年時代と思想形成は國崎さんゆきには考えられません。國崎さんは、ヒトラー総統前夜のベルリンにいて、ドイツの労働者と一緒に、また在欧日本人左翼グループの中心として、反戦運動のために国際舞台で活躍していました。その頃、一緒に活動するなかで、人間の生き方について色々と教えられました。いま、なぐり忘れられている國崎さんの生涯と著作が明らかにされたのは私個人として懐旧の念ひとしおです。同時に、日本人が「70年代」の政治的決定をせまられていることを考えると、胸熱とはいえない気がします。